



みんなの力でみんなの幸せ

s a w a r a b i

# さわらび

6

June

2007

vol.410

医学  
講話

「高齢者医療における心不全症」

名古屋大学医学部名誉教授 小島 清秀

特集

改正介護保険を振り返る

介護予防モデルへの転換

—地域包括支援センターの取り組み—



「高齢者医療における心不全症」



名古屋大学医学部  
名誉教授

小島 清秀

福祉村病院は高齢者医療に特化した医療施設です。本院では入院の患者さんとご家族の人類愛に満ちたご好意により、高齢者医療の本質の解明と進歩に資するべく、ご遺体の提供を賜り、解剖学的検査を行っています。脳の病変は勿論のこと、全身諸臓器についても検索し、生前にあった症状と対比を行うことにより高齢者医療の特質を知り、その結果を次の患者さんに生かすべく、日々研鑽を重ねています。紙面を借りてご遺体の提供を賜った皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、このような解剖学的検索により、高齢者の直接的な死因のほとんどが心肺機能不全によることが明

らかになっていきます。肺の感染症や誤嚥による肺炎が引き金となり、心臓への負担が高まり、心機能不全を起す症例が多く見られます。

また、高齢者の潜在的な心機能不全是、些細な原因により肺のうっ血水腫を起こし、呼吸面積の狭小化は心臓に大きな負担を与えると共に、感染症を起こす引き金ともなっています。このように心臓・肺臓は共に独立的な機能を担うと共に、その個々の機能不全が相互に影響しあつて生体の不可逆的機能不全を起こし、死へとつながっていきます。

今回は高齢者の潜在的な心不全症について考えてみましょう。

高齢者の心臓の形態学的特徴

a) 加齢に伴う生理的な変化

心臓の重量は平均値としてはほとんど老性減少を起こさないとされています。Linsbachら（一九七三年）は生下時から一〇歳までのヒト剖検例七一―二例について調査し、心臓重量の平均値は八〇歳代まで持続的に上昇し、その程度は三〇歳以後で毎年男性で一g、女性で一・五gの割合であるが、九〇歳、一〇〇歳では軽く減少すると報告しています。また、三〇〜八〇歳までの男女性ともに、心重量の増加は平均動脈血圧の上昇と関連しているとしています。

心臓は血液を全身に送り出すポンプの役割を担い、重量の増加は主として左心室の筋層の肥大により生ずるものです。日本人成人男子では、左心室筋の厚さは一四mm〜一六mm程度ですが、年齢と共に上限のほうに平均値がずれ、高齢者では一六mm±

一mm程度の値を示します。

b) 本病院の症例について

私どもの病院で八〇歳以上の高齢で死亡する患者さんの直接死因は心不全症です。これらの症例では、左心室の筋層の厚さは一八mm〜二二mmと生理的な数値に比して高値を示します。勿論、加齢に伴う動脈硬化性変化が心筋肥大の基盤になっていることは言うまでもありません。時には古い心筋梗塞性瘢痕が見られます。

心筋肥大と共にしばしば見られるのが心筋炎症状です。加齢に伴い免疫機能に変調をきたし、その結果高齢者では自己免疫状態が起こり、死亡には至らないものの、潜在的な心筋炎を併発しているものと考えられます。正常には見られない円形細胞浸潤が心筋細胞周囲に出現し、筋原繊維の乱れや消失を伴った心筋細胞が随所に見られます。このような状



態では心筋肥大を起こし、加齢に伴う身体変化に対応してきた心機能も、それ以上の心臓への負荷には耐えきれず、機能不全を起こすものと考えられます。高齢者での自己免疫状態を予防する手段の開発が望まれます。

### 心不全症研究の現状

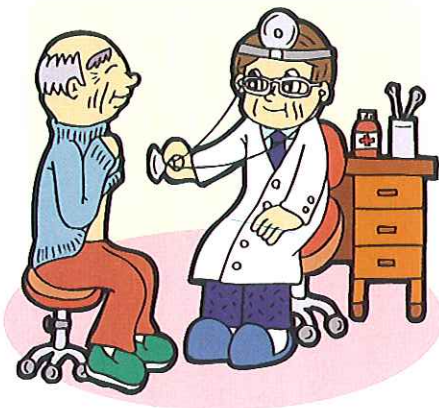
心不全症とは心臓のポンプ機能が低下し、末梢の主要臓器の酸素需要に見合うだけの血液量を拍出できない状態を言います。高血圧、虚血性心疾患、心筋炎、弁膜症といった心臓疾患の最終的な病像が心不全症です。

#### a) 心筋細胞の特殊性

心筋細胞は生命体が生存している間は常に興奮という電気刺激を筋収縮という力学的仕事に変換する特殊な仕事をしています。これにはカルシウムが深く関連し、細胞内のカルシウムの増加は筋収縮を、低下

は筋弛緩を惹起します。この興奮、収縮には細胞内の情報伝達に関連する種々のタンパク質が働いています。その分子機構もほぼ明らかになってきています。

心筋細胞は刻々と変化する圧負荷、容積負荷といった物理的ストレスに対して、その収縮力を変化させて適応する必要があります。また、心筋細胞は障害によって細胞死が起こると、他臓器のように細胞の増殖によって臓器機能を回復させることは出来ません。そのため、心筋細胞は短期的な収縮力の調節に加えて、遺伝子発現変化を伴う細胞生存のためのストレス適応機構が高度に進化して



います。それらの詳細な分子機構も少しずつ明らかになってきています。

#### b) 心臓のリモデリング (再構築)

心臓に圧負荷などの物理的負荷がかかる時、心筋細胞はそれを感じ、タンパク質合成が亢進して肥大を起こしてきます。この過程にはタンパク質合成の量的変化のみならず、遺伝子発現の変化を伴う成人型から胎児型アイソフォームへの形質転換を起すことが明確になってきました。ストレスが過大であったり、長期にわたった場合、その適応は破綻し、心室内腔は拡大し、心筋収縮力が低下し、心機能障害を起こします。この心室の形態、容積、機能の変化を心臓リモデリングと言い、心不全症の発症、進展の本態であると考えられています。

心臓リモデリングにはアンジオテンシンII、エンドセリン、ノルエピネフリンなどの神経、体液因子や腫瘍壊死因子などのサイトカインの活

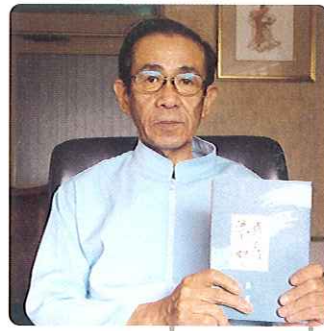
性が引き金、進展因子となつていきます。これらの因子が受容体に結合し、情報が細胞内に伝達され、細胞内情報伝達機構が活性化され、細胞に種々の影響を与えます。細胞保護的に働く経路、細胞障害的に働く経路が同時に活性化され、それらのバランスにより細胞の運命が決定されているようです。細胞内情報伝達系の変化は心筋細胞の肥大や細胞死を起こし、最終的には機能不全に陥ります。これらの過程の分子機構について、現在盛んに研究が行われています。近い将来、心不全症に対する治療法が確立することを願つてやみません。



地域医療に心血注いだ

30年をまとめた

「歳月流るる如し」を発売



出版した本を手にする  
森外科クリニック院長  
森 澄先生

さわらび会の理事としてご活躍くださっている森澄先生が、この程、

愛知県医師会副会長や豊橋市医師会会長を歴任し現在、愛知県医師会代議員会副議長として医師会活動を中心に地域医療向上のためご尽力されてきた30年間の活動やさわらび会の会報などへの寄稿文を一冊にまとめた「歳月流るる如し」を発売されました。

先生は、会報さわらびの原稿を受け取りに行った際に、医学部文学科卒と冗談よく言われていましたが、

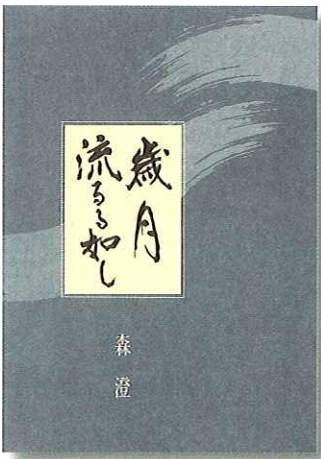
本当に文章がお上手な上に、その内容は多岐に渡っており、深みのある表現で読者を飽きさせません。そして、私たち医療や福祉に携わる者たちへ何らかのメッセージが温かい思いやりの中に込められています。今でもまた、寄稿文をお寄せいただければと思っているファンも少なくないと思います。

また、表紙の題字は佐藤貴久江さん（自然の会会員・墨点書の会主宰）が担当されており、題字と表紙のデザインもマッチし、大変センスの良い趣のある仕上がりになっています。

●本の問合せ先

森外科クリニック

☎0532-53-6211



さわらび医療ケアホーム  
入居スタート

昨年度より準備を進めてきました「医療ケアホーム」が、5月1日ついに開所となりました。現在、福祉村内のレジデンスなかまの102、103号室を利用して5名（男性3名・女性2名）の方が生活を送っています。

4月号でも述べましたが、「医療ケアホーム」は重症心身障害者の方の地域移行を実践する事業です。地域で生活を送る上で、利用者の日々の日課や余暇を重視しています。現



▲みんなのティータイム

在、利用者の方はしるがねの生活介護や、NPO法人の外出サービスなどを活用して日課を過ごされています。

もちろん医療面においても、1日2回の看護師のホームへの巡回や地域の主治医との連携をとって、日々の医療ニーズを支えています。

今回入居された方は、この「医療ケアホーム」に入るまでは長い間施設を利用されてきました。長年住み慣れた施設を離れ、新しい生活を始めるということは、期待よりも不安やとまどいが大きいことと思います。しかし、一ヶ月たった今では、ケアホームにご家族、ご友人を招いたり、自分の部屋でお気に入りの番組をテレビで見たり、音楽を聴いたりそれぞれがご自分のペースで過ごされています。

まだまだ一歩を踏み出したばかりの事業ですが、利用者の方の安全を第一に、「楽しい」「ここに入って良かった」と思っていただけになるような努めてゆきます。（栗本）



◎2007年5月10日講義

## 「大腿骨折の予防」

福祉村病院 医師 古谷 愛晴

はじめに

我が国の平均寿命はWHO（世界保健機構）の統計で男女平均81・6歳と、世界一の長寿国となりました。また健康寿命（けがや病気をしないでいられる年数）という指標で見ても男女平均75歳で世界一です。ただ、晩年に病気やけがなどにより、介護が必要な方や寝たきりとなる方も多くおられ、この健康寿命をいかに伸ばしていただけるかが今後の課題と言えそうです。

### 寝たきりの原因

高齢者の寝たきりの原因としては、脳血管障害が38%と最も多く、それに次いで転倒・骨折が13%を占めて

います。加齢とともに骨粗鬆症などにより骨が脆くなる為、転倒などにより手首、腕の付け根、背骨、太ももの付け根などに骨折を来しやすくなります。このうち太ももの付け根の骨折を大腿骨骨折といいます。激しい痛みと歩行不能となる事が多く、一昔前までは寝たきりの最大原因と言われていた骨折です。今日では手術やリハビリを積極的に行う事により寝たきりになる方は減りましたが、今なお年間13万人がこの骨折を起こし、要介護や寝たきりになることが多く、いかに骨折を防ぐかが重要となります。

### 骨折の原因

転倒の3分の2はつまずく、滑るなどのちょっとした原因で起こります。とくに75歳以上の後期高齢者の方にその傾向が強く見られますが、発生率で見ても75歳を超えると急激に高くなり、こうした原因を減らしていく事が重要です。

### 環境づくり

敷居や小さな段差などは油断してつまずく事が多く要注意です。また

コード類や新聞紙などを床に置くのもつまずきの原因になりやすく危険です。水回り（風呂場、トイレ）などでは手すりや滑り止めのマットなどを利用し転倒を防ぎましょう。

### 運動療法など

体を支える筋力、特に太ももの力をつける事は歩行能力の維持と転倒予防に重要です。椅子に深く腰掛け、ゆっくりと膝を伸ばし、足をあげていく運動は、片足10回ずつでもかなりの力がつきます。ベッドや椅子に座っていても、テレビを見ながらでもできます。

また骨を強くする為にカルシウムやビタミン類の摂取は重要です。散步程度の日光浴は取り入れたビタミンDを活性化し骨を強くします。

以上、簡単に大腿骨骨折についてお話ししました。できる事からはじめて、『健康で長生き』できる生活を続けていきましょ。



## 「共感的理解と傾聴」

◎2007年5月24日講義  
若菜荘 施設長 武田 和敏

病院や施設のスタッフは、常に多くの患者さんや利用者の皆さんと接しています。人はそれぞれに歴史があり、考え方、感じ方も違います。そのような人達のことを理解し、より良い支援をするためには、看護師や介護士などのスタッフは、自分自身がどのような態度や考え方を示す傾向があるのかを、理解しておく必要があります。

そこで自己認知（覚知）を深める方法として「看護版応答態度診断テスト」を実際に体験することで、自分の考え方の傾向を知り、その上で相手の立場になって相手の気持ちや感情を分かろうとする共感的な態度（理解）を身につけることが大切になります。また、スタッフは相手の話をただ聞くのではなく、相手の気持ちの背後にあるものに耳を傾け、心を聴くことが大切になります。

# 災害弱者を守るために



## さわらび会の受け入れ体制の整備

阪神、新潟長岡、石川県能登地方、それ以外にも、各地で地震のニュースが流れてきております。その中でも確実に起こるとされているのが、東海・東南海地震です。さわらび会ではその地震を想定して様々な取り組みを行ってきました。

### さわらび会地震防災規定

さわらび会には、福祉村地震防災規定があります。大規模震災による災害の防止と被害の軽減を目的としており、各施設の地震防災規定だけではなく、地域の人たちの受入や安否確認を考慮した規定となっており、震災時の受入に関するアンケートや台帳の作成もその活動の一環です。行政との連携、災害ボランティアの受入窓口の設置など、被災地の活動を参考にさせていただきながら、緊急時に備えています。

### 安否確認台帳の作成と更新

平成十四年度から二年ごとに在宅の利用者の方を対象にアンケートを実施しており、今回で三回目となります。これまでのアンケートの結果に基づいて、震災時に一般の避難所での生活が困難な高齢者や障害者の方の受入のために必要な寝具や食糧などの備蓄の見直しを行ってきました。

地区別東海・東南海地震に備えてのアンケート結果 平成19年5月1日現在

中学校別	該当者数				さわらび会施設への避難希望者		家族の同行希望者	要お迎え介助希望者	要安否確認者	
	計	高齢	身体	知・精	一次	二・三次			一次	二次
1	北部中	3	1	0	2	0	1	1	1	1
	吉田方中	4	1	0	3	0	1	3	1	2
2	青陵中	50	40	2	8	19	10	6	6	11
	東陵中	9	5	1	3	0	1	1	1	3
3	石巻中	34	30	3	1	13	8	6	6	9
	豊岡中	13	3	4	6	2	4	3	1	2
4	東陽中	6	1	2	3	1	1	3	1	0
	東部中	16	1	5	10	7	5	4	2	4
5	二川中	5	1	1	3	0	1	0	2	0
	五並中	6	1	1	4	0	1	2	0	0
6	章南中	7	3	2	2	4	0	2	2	0
	高豊中	11	5	1	5	5	5	4	4	1
7	南陵中	38	19	6	13	11	10	11	13	6
	高師台中	28	7	8	13	17	7	13	11	4
8	本郷中	52	17	5	30	32	7	20	17	14
	南部中	34	7	5	22	12	11	9	13	6
9	南陽中	20	2	5	13	5	6	13	9	5
	羽田中	5	1	1	3	3	0	4	3	3
10	牟呂中	9	5	2	2	0	3	5	2	3
	中部中	13	6	3	4	3	2	7	1	4
11	豊城中	5	1	2	2	2	0	3	3	2
	計	368	157	59	152	138	83	120	101	79

該当者は福祉村病院、さわらび荘、東雲コンビニ、珠藻荘、しろがね、あかね荘、明日香を利用している在宅の方です。

※さわらび会施設への避難希望者 一次：まずさわらび会関係施設への避難を希望されている方です。 二・三次：近くの避難所へ移動してから、さわらび会関係施設への避難を希望されている方です。

※家族の同行希望者：日常の介護者を含め避難を希望する方です。

※要お迎え希望者：単独での移動ができないので、お迎えを希望する方です。

※要安否確認：職員の判断で緊急の安否確認が必要と認める方です。

今回のアンケートでは、特に安否確認台帳を兼ねることができるようになりました。豊橋市内を十一の地域ブロックに分け、中学校区別に台帳を作成しています。さわらび会の利用者も多くは、さわらび荘を中心とした北部と福祉村を中心とした南部に集中しております。とはいえ、利用者の方が全市内に分散しているのも確かです。各地域ごとに台帳を整理し、被害状況をみながら緊急時の安否確認を速やかにできるようにしたいと思っています。また利用者の方の状況も逐次変化をしております。新しい利用者の方も増えてきています。そのため今後は、常に台帳の更新を進めていきたいと思っています。

## さわらび会への避難希望者

一般の避難所では生活ができないと感じている高齢者や障害者の方々がたくさんいらっしゃいます。まず避難をする時に、使い慣れたさわらび会の各施設を利用したいと希望された方が百三十八名いらっしゃいました。ご家族も同行したいと希望した方を含めると、利用希望者はその倍以上になります。

施設から遠い方の中には、まず近くの避難所へ移動してから、さわらび会の施設へ移りたいと希望される二次、三次希望者の方も大勢いらっしゃいました。さわらび会ではこれらのアンケートの結果に基づいて、備蓄の内容や備蓄倉庫の建設など、その必要性を考えていきたいと思っております。

## 移動手段の問題

高齢者や障害者だけの世帯の問題として移動手段があげられます。自分たちだけでは移動ができず、そのため迎えが必要だと思っている方が百一名ありました。しかし回答のなかった方たちの中にも、単独での移動ができないと判断される方が多いのも事実です。震災後、道路事情がどのようになるか分からない不安もあります。施設が所有する大型、小型の福祉車両もどこまで使用できるか未知数ではありますが、ガソリンをこまめに補給しながら、最善を尽くせる状況にしておきたいと思っております。

## アンケートによる意識の向上

今回のアンケートの最大の目的が安否確認台帳の作成でした。担当職員の見断で要安否確認者を三段階に分け、特に一次、二次の要安否確認者を地域ごとに把握することによつ

て、緊急時の対応を速やかにできるようにとの思いから実施しました。アンケートの回答がなかった方の中にも、要安否確認者の方が大勢います。「どんな状況でも家にいたい。家からはなれたくない。」との意見もありました。そのため、障害や家族状況、周囲との関係など考慮しながら、安否確認の緊急性を職員で分類してきました。また、防災のアンケートを実施することによって、利用者の方にも緊急時の避難場所や移動の問題、施設の利用などを考えるきっかけにさせていただきたいと思っております。

## 各施設の防災対策

第二さわらび荘では家族会と協力して防災対策を立てています。先日行われた家族会総会の中で、山本ゆかり施設長より「最近地震が増えており、さわらび会も在宅の要介護者の受入準備をしています。第二さわらび荘では入所者及び職員用で現在

百五十人分を三日分備蓄を

していますが、家族の方等外部から避難して来る方用に非常食の備蓄



をご協力いただければ幸いです。」との話しがありました。それに対して家族会費の予備費の中から予算を計上していただける事となりました。家族の方からも「こういった準備をして頂く事で、安心して家族を預ける事も出来るし、私たちも心強いです。」等のご意見を頂きました。これからも入所者のみならず、地域の方や家族の方のためにも防災対策に力を注いでまいります。

また五月十五日には、豊橋市南消防署のご協力のもと、今年度第一回の福祉村合同防災訓練が実施されました。年間を通し複数回実施することにより、迅速な対応が出来るよう努めてゆきます。(石黒・編集スタッフ)



## ●特集

改正介護保険を振り返る  
介護予防モデルへの転換

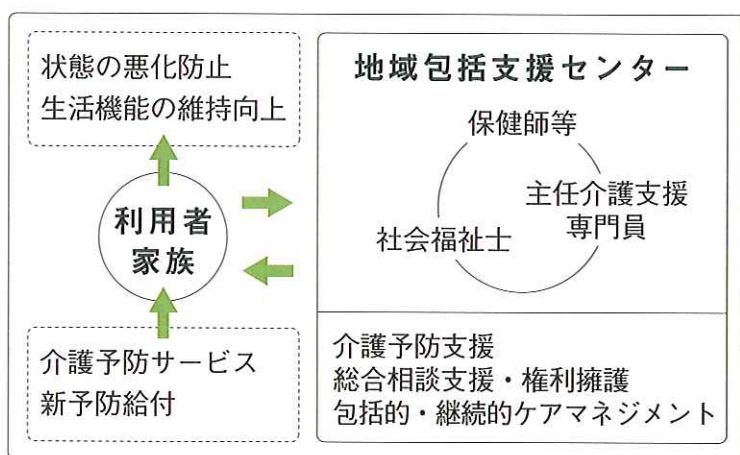
## 地域包括支援センター の取り組み

改正介護保険法が施行され、「介護モデル」から「介護予防モデル」へと大きく方向性が転換されてから一年以上が経過しました。さわらび会の各地域包括支援センターでも、ご利用の皆さんのニーズに対応できるように様々な取り組みを行ってきました。

### 地域包括支援センター ってなに？

豊橋市内には、従来の在宅介護支援センターを運営していた社会福祉協議会をはじめとする社会福祉法人、医療法人、生活協同組合等が、市内の十五カ所で地域包括支援センターを豊橋市委託事業として運営して

ます。さわらび会には、さわらび地域包括支援センター（牛川町）と福祉村地域包括支援センター（野依町）の二カ所があります。



地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及

び福祉の増進を包括的に支援することを目的としています。また、包括的支援事業等を地域において実施する役割を担う中核機関として設置され、保健師、社会福祉士等の専門職員が対応しています。

### どんなことをやっているの？

#### ①包括的支援事業

平成十八年度以前には、虚弱な状態にある高齢者からの相談に対して、介護状態への移行を防ぐための介護予防生活支援事業が行われていました。改正以後は、本人や家族からの相談以外に、民生委員や市で行われている生活習慣病健康診断等の経路から新たな情報が入ってくるようになりました。

生活機能低下の兆しが見える方には、市役所より地域包括支援センターに情報が入るようになっており、この情報を元に状況を把握し、必要な方には、介護を予防する生活について本人や家族と一緒に計画を立て

るといふ介護予防ケアマネジメント事業に取り組んでおります。

#### ②総合相談支援事業

地域の高齢者が、住み慣れた場所で安心してその人らしい生活を続けていくことができるようにするために、本人、家族、民生委員などから相談を受けて、状況の把握と相談内容に即した情報の提供や制度の紹介などをしています。

#### ③権利擁護事業

問題解決が困難で、適切なサービスにつながる方法が見つからない状況にある高齢者が、地域で尊厳ある生活を送ることができるよう専門的に支援を重ねることも役割のひとつとなっております。相談者の内容によっては、市の生活相談を活用して弁護士など専門分野への相談支援もしております。成年後見制度の紹介や、高齢者虐待への対応を行う体制も整えております。

#### ④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らす



ことができるよう、地域の様々な職種と連携を図るとともに、個々の高齢者の状況や変化に応じた対応のための、専門職に対する後方支援を行うことが求められています。

また、地域の介護支援専門員との連携をとるにあたり、事例検討会、法令の勉強会や情報交換などのため、圏域ケア会議を開催しております。

### ⑤ 指定介護予防支援

平成十八年四月より、要支援・要介護状態区分は七つの区分になり、要支援1及び要支援2となった方が新予防給付の対象者、要介護1～5

までの方は介護給付の対象者となっています。同じ介護保険でも、新予防給付は地域包括支援センターが相談に応じ、介護給付は従来の居宅介護支援事業所が相談に応じていきます。どちらも高齢者の生活・人生を尊重してできる限り自立した生活を送れるように、状態の維持改善、悪化の防止を支援するものです。

課題点としては、ある方が要支援認定から要介護認定になると、計画

相談に応じる事業者と担当者が地域包括支援センターから、居宅介護支援事業所へ変更されることです。対応できませんサービス内容や料金にも違いがあります。介護認定の方が回復されて要支援になりますと、その逆の動きを取ることで、信頼関係を築いて相談に応じている担当者や制度のために変更せざるを得ないこととなります。

ただし、なかにはそのことが状態の見直しやサービス利用の仕切り直しの良い機会になることもあります。

その他にも任意事業として、家族介護教室の開催や、介護者の交流会等を地区の市民館で開催しております。平成十八年度の開催状況は次のとおりです。

### ● 家族介護者交流会

● 七月に青陵地区市民館で、十月に石巻地区市民館で、それぞれカイロプラクティックの専門家を講師に招き、介護者に多い腰痛についての講話や体操を行いました。

### ● 介護者教室

● 八月に青陵地区市民館で、「認知症サポーター養成講座」を兼ねて、その専門の講師（さわらび荘介護士長）を招き、地域において認知症の方やその家族を支えていただくための講話を行いました。（二十四名参加）

● 十二月に石巻地区市民館で、「活動的な八十五歳を目指して」——高齢者の転倒と骨折——について、地域包括センター職員によるスライドを使った講話と、理学療法士の指導による体操を行いました。（四十名参加）



▲家族介護者交流会の様子

地域包括支援センターはまだまだ認知度は高くないのが実情ですが、今年度は地域の方の身近なところに、生活の総合相談の場があることをお知らせしていきたいと考えております。

また、社会福祉士・主任介護支援専門員・保健師の三職種が専門職の特徴を活かした、総合相談、権利擁護事業等の充実した活動を行いたいと思っております。（土井・松下）

### さわらび地域包括支援センター

☎(0532)54-3521

豊橋市牛川町字浪ノ上25-20  
(さわらび荘隣り)

### 福祉村地域包括支援センター

☎(0532)45-5130

豊橋市野依町字山中19-1  
(福祉村内)

左近のチャレンジ  
Challenge of Sakon



Photo/IMAHARA Taro(TIPP)

トップチームの背中  
中は確実に捕らえた!!



山本左近

BCN Competition Team ♦ Sakon Yamamoto



# 施設長直筆の書で 季節感を



ジュゲム施設長・金井芳之

毎週月曜日、決まって東京・JR豊橋・渥美線新豊橋・高師と電車を乗り継ぎ、タクシードで梅田川沿いの堤防を通って福祉村にやってくる。道すがら、梅田川はある時は満ち、またある時は干潟のようになり、特に干潟の場合は鴨の集団や、たまに数羽の白鷺など、楽しそうに魚を捕食する光景は暫し安らぎを与えてくれる。そこから別れを告げると、今度は広大な茶畑が私を迎えてくれる。三月頃にもなると、黒々していた茶葉が淡い黄緑色になると、そこから新緑になるには余り時間は要らない。出来上がった新緑の絨毯は筆舌に尽くせず、凡人の心で表現するには罪悪感さえ感じる。ある日突然その緑の絨毯が予告もなく消え失せる。それは言わずもがな、茶摘みによるものだ。この光景はそれだけの畑で繰り返し返されるのであるが、それが一段落すると、もう夏の到来が近い。この巧みな自然の絡繰りを畏れる心はいつまでも維持したいものである。

茶畑に  
ひとまじり茶を  
夏化粧

芳之

## さわらび日記

(H19・4・16〜5・15)

### ■福祉村病院・ジュゲム

4月17日 第一病棟・さくら通り病棟家族会

豊橋市医師会主催「かかりつけ医認知症研修会」にて伊対弘之副院長が「成年後見制度と認知症ケアの最近の話題」について講演

18日 第二病棟家族会

20日 施設長会議（さわらび荘）に理事長出席

26日 橋詰先生によるCPC（理事長出席）

27日 さわらび大学「障害者自立支援法移行について」石黒稔しるがね施設長

野依健康教室にて山本理事長が「内臓脂肪症候群」について講義

5月1日 早蕨編集会議（理事長出席）

8日 ジュゲム幹部会

9日 豊橋みなとライオンズクラブ「福祉村訪問例会」に理事長出席

10日 さわらび大学「大腿骨骨折の予防」古谷愛晴医師

11日 病院幹部会（理事長出席）

13日 日総研主催公開セミナーにて伊対弘之副院長が「認知症高齢者の身体状態把握の仕方とケア」について講義

15日 第一病棟・さくら通り病棟家族会

福祉村合同防災訓練（理事長出席）

### ■さわらび荘

4月16日 愛知県グループホーム連絡協議会・役員会（施設長 名古屋）

17日 県老協役員会地区代表会議・委員長会議（施設長 名古屋）

18日 老人ホーム三河部全体施設長会議（施設長 岡崎）

19日 豊橋市議会議員不在者投票

豊橋市介護保険関係事業者等連絡会（施設長・渡辺・浅見・鳥山・石川 名古屋）

第一回認知症介護研修調整会議（柴田 名古屋）

第一回運動機能向上に関する検討会（松下 豊橋市職員会館）

20日 高齢者担当者会議（藤原・渡辺・浅見 第二さわらび荘）

24日 県グループホーム連絡協議会役員会・総会（施設長 名古屋）

地域包括支援センター業務打合せ会（松下・石川・浅見 市役所）

25日 県老協協新人研修（野末 名古屋）

県居宅介護支援事業者連絡協議会ケアマネ部会（白井 名古屋）

27日 ショイフル千種完成式出席（施設長 名古屋）

5月1日 豊橋市民間老人ホーム協議会施設長会議（施設長 第二さわらび荘）

7日 県老人ホーム部会・デイサービス部会（施設長 名古屋）

8日 県老協施設長会議・総会・緊急地区代表会議（施設長 名古屋）

15日 はりほら運営推進会議

介護支援専門員研修交流会（白井・鳥山・石川・本江 ライフポートとはし）

■第二さわらび荘・カサデローザ

4月17日 愛知県老協役員会（山本施設長 長久手町）

18日 三河部施設長会・役員会・全体施設長会（山本施設長 相澤施設長 岡崎市）

19日 豊橋市議会不在者投票

労働保険説明会（大久保・藤井 ライフポート豊橋）

認定審査会（長坂 豊橋市役所）

20日 法人施設長会議

豊橋善意銀行感謝の集い（相澤施設長 豊橋総合体育館）

23日 全国老協協正副会長・委員長会議（山本施設長 東京）

25日 本施設長 家族会総会

愛知県老協協新人研修（高橋 名古屋）

27日 ショイフル千種完成式（山本施設長 名古屋）

5月1日 豊橋市民間老人ホーム協議会施設長会議（山本施設長 第二さわらび荘）

7日 愛知県社協老人ホーム部会・デイサー

# ご就任 おめでとうございます

岡田則子先生が名古屋市立大学教授に就任



医療法人さわらび会元理事 岡田則子先生が、5月1日より名古屋市立大学大学院医学研究科免疫学分野の教授に就任されました。先生のご専門は免疫学で、中でも免疫反応を促進する血中タンパク質の「補体」に注目され、エイズ治癒を目指しての研究をされています。

また、4月1日から次の3名の先生方が非常勤講師に就任されました。

- 愛知医科大学医学部非常勤講師  
医療法人さわらび会 理事長 **山本 孝之**先生
- 名古屋市立大学医学部非常勤講師  
福祉村病院 先端医療担当副院長 **岡田 秀親**先生  
福祉村病院長寿医学研究所 副所長 **赤津 裕康**先生

# 夏休み親子福祉体験



## 実施決定!!



今年の夏も、福祉村に遊びにきてね!!

今年の夏も、福祉村にたくさんの小中学生とそのご父兄ご兄弟にご参加いただき、第三回夏休み親子福祉体験が実施されることになりました。

大変ご好評をいただきました前回の実施では、天気もよく大変暑い日にもかかわらず、小中学生159名、ご家族171名の合計330名の方々が参加されました。

今年の具体的な内容や参加方法などは後日あらためて公表させていただきますが、まずは日時をお知らせいたします。

### 日時

平成19年8月5日(日)  
午前10時～

### 場所

福祉村 各施設 (豊橋市野依町)



- |              |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 11日          | 10日    | 8日     | 7日     | 5月1日   | 27日    | 26日    | 24日    | 18日    | 17日    | 4月16日  | 5月8日   | 10日    | 27日    | 26日    | 20日    | 19日    | 4月17日  | 13日    | 10日    | 9日     | 8日     |        |
| 若菜会地域活動日・懇談会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 |
| 若菜会地域活動日・懇談会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 |
| 若菜会地域活動日・懇談会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 | 若菜会役員会 |



# 「お遍路さん」

～四国八十八ヶ所めぐり～

第12回

## 遍路泣かせの「お鶴さん」



福祉村病院 副院長  
伊莉弘之

第十九番立江寺から第二十番霊鷲山（りょうじゅざん）鶴林寺（かくりんじ）まで十四キロ、徒歩で四時間、車でも三十分。  
鶴林寺は標高五百七十メートルにあり、昔は険しい山道を歩いて登らざるをえなかった。阿波の難所を示す言葉に「一に焼山、二にお鶴、三に太龍寺」とある。  
今は寺の近くまで車で入ることができ。しかし、駐車場から本堂や大師堂まで坂道を歩き、急な階段を登る。子供たちは駆け上がる。仁王門の仁王像は運慶作。深山幽谷の山寺という空気



本堂の脇には美しい三重塔がある。ここでは、いつまでも時間が経過しないように感じた。「暑いけど、やっと汗が乾いたよ」と小三の娘。今日は十二月三十一日であることを忘れるくらい良い天気だ。



が流れている。  
本堂の正面には左右に美しい白鶴像が向かいあって立っている。いま羽をひろげて飛び立っている鶴の姿を見たような錯覚にとらわれた。

・さわらび会  
車いす貸し出しセンターが開設しました

「さわらび会

車いす貸し出しセンター」は、車いすを必要とする高齢者や障害者（事故・疾病等で一時



的に必要となった方を含む）で、特に福祉制度等の活用ができず、車いすを持っていない方を中心に必要に応じて貸し出しを行い、外出をはじめ日常生活の支援を行うことを目的に、開設されました。また、豊橋みなとライオンズクラブ様からは貸し出し用車いすのご寄付をいただけることになりました。

無料での貸し出しとなっております。ご利用のお問い合わせ、ご相談など、どうぞお気軽にお申し付けください。

さわらび会

車いす貸し出しセンター（珠藻荘内）

☎0532-47-1050

☎0532-47-1023

## さわらび会後援会 寄附ご芳名

●H19・4・15～5・14

- 一、市内王ヶ崎町字上原一八五 塩野年昭氏 壹万円
- 一、市内牧野町九〇 小松ウメ氏 伍千円
- 一、市内東雲町四七 梅村敏夫氏 八千円
- 一、市内入舟町二一 (株)三恵薬品 壹万円
- 一、名古屋南区西又兵衛町二丁目二一三三 ハヤシリハビリ(株) 壹万円
- 一、新城市南畑七四 光田屋(株) 壹万円
- 一、市内大清水町字富士見八〇四一 (株)松谷建設 壹万円
- 一、市内小池町三六一一 共和印刷(株) 伍千円
- 一、市内高塚町神田六八 田京敏明氏 伍千円
- 一、市内中岩田三丁目一 白井良治氏 壹千円
- 一、市内弥生町西豊和九 林昭氏 壹万円
- 一、市内萱町三〇 (株)中野新松商店 壹万円
- 一、市内瓜郷町前川五〇 鈴木弘生氏 壹万円
- 一、市内東新町三一四 (株)日医工新和 壹万円
- 一、市内間屋町一五〇五 (株)スズケン 壹万円
- 一、市内東田町一五四 笹竹田商店 壹万円
- 一、市内飯村北丁目二六 滝川器械店 壹万円
- 一、市内東脇三丁目一 森田由利子氏 壹万円
- 一、市内白河町一〇〇 中部ガス(株) 壹万円
- 一、市内神野埠頭町二 神野臨海(株) 壹万円
- 一、市内野依町山中一九一 福祉村病院職員有志 壹万円

- 一、匿名希望氏 四千元
- 一、匿名希望氏 参万円
- 一、匿名希望氏 貳萬伍千円
- 一、匿名希望氏 壹萬貳千円
- 一、匿名希望氏 壹万円
- 一、匿名希望氏 壹万円

その他匿名希望多数の方より  
ご寄附頂きました。

計 貳拾六萬伍千六百六拾八円

現在までにご寄附いただきました金額は  
八億壹千四百貳拾萬  
四千四百参拾四円

## インド福祉村協会 寄附ご芳名

●H19・4・15～5・14


- 一、名古屋市中区出来町三丁目七二二 柴田寿良氏 伍万円
  - 一、豊明市新栄町二一三四一 加藤伸也氏 伍千円
  - 一、名古屋市中区山田町四一四二一 玉川達雄氏 壹万円
  - 一、市内王ヶ崎町字上原一八五 塩野年昭氏 伍千円
  - 一、名古屋市中区新栄一七二二 東海労働金庫 四千参百円
  - 一、名古屋市中区昭和区山花町五〇 医療法人 生寿会 肆千参百円
  - 一、理事 酒井宏氏 伍万円
  - 一、名古屋市中区大須四一五三〇 辻 久雄氏 伍千円
  - 一、名古屋市中区向台二丁目二二〇二 藤本寮子氏 伍千円
- 計 壹拾参萬四千参百円

### セブンイレブン高師店にて明日香のクッキー販売開始

4月からセブンイレブン高師店にて明日香のクッキーが店頭に並ぶようになりました。

店長さんのご好意により、2月頃から販売許可が下りるよう東京の本部に見本やレシピを送ったり、食品の保存検査成績票のチェックや実際に作っているところを見学して頂くなど厳しい審査の結果、無添加のクッキーが認められ、店頭で並ぶ許可が下りました。

レジの目の前に並べさせて頂いていますので、皆さんも是非ご購入下さい。



### 募金方法(インド福祉村)

■振込先 郵便振替・郵便振込 口座番号 00830-2-65008 インド福祉村協会  
■連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎48-1138まで

### さわらび大学講座案内

☆参加費無料で、どなたでも受講できます

- 6月14日(木)「目で見る脳疾患」  
長寿医学研究所 所長 堀 映
- 6月28日(木)「転倒予防」  
さわらび地域包括センター 軽費老人ホーム若菜荘
- 7月12日(木)「近代医学に貢献した日本の先駆者～北里柴三郎を中心に～」  
老人保健施設ジューゲム 施設長・東京大学客員研究員 金井 芳之  
(役職:日本免疫学会評議員 日本リウマチ学会評議員など)
- 7月26日(木)「ピアカウンセリング」  
身体障害者療護施設珠藻荘 副施設長 田中 力

※さわらび大学の開催は、第2・4木曜日の開催です。時間は午後3時～4時。会場は、福祉村病院会議室です。尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

◎お問い合わせ・受講申し込み  
軽費老人ホーム若菜荘  
☎ (0532)48-1138 FAX (0532)48-2365

# 6月の景色 ■ scenery of June

● 写真:「あじさいの里」蒲郡市形原  
「浜名湖」浜松市  
「賀茂しょうぶ園」豊橋市

みんなの力でみんなの幸せ

2007年6月1日発行 早蕨 第410号

(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)

充実した医療と福祉

- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ☎(0532)37-1209
- ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138
- 身体障害者療護施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 知的障害者更生施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 知的障害者授産施設 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね ☎(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町) ☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ 弥生 ☎(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 ☎(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501



社会福祉法人 医療法人 さわらび会

編集責任者: 武田和敏 印刷: 共和印刷株式会社 定価: 100円

■表紙作品:「湖畔」安江桂子(珠藻荘)

## 編集後記

災害弱者の皆さんが、数多く生活をする福祉村。私たちには、そうした方々の生命、財産を守る義務がある。そのためには、いつ何時襲つて来るかもしれない災害に備え、様々な場面を想定しての訓練や体制を構築する必要がある。しかし、私達の力だけでは到底及ばない。そこで、地元の消防団の方と協力しての訓練や隣接する大学の学生さんを対象に緊急時のボランティア目的での見学会を行ってきた。また、市内在住で介護を必要とし、一般の避難所での生活は難しい高齢者や障害者の方々を支援する目的で、アンケート調査を実施してきた。今後も、状況の変化を見極め、地域の皆さんや行政などと協力して防災体制の強化を進めてゆきたい。

(武田)